

病床機能転換概要報告書

1 病院名：北里大学メディカルセンター

2 所在地：埼玉県北本市荒井六丁目 100番

3 病床機能転換概要

○ 転換予定年月：令和7年1月

<転換病棟>

	病棟名	病床種別 (*1)	病床機能 区分(*2)	転換病床 数(床)	入院基本料・ 特定入院料(*3)
(記入例)	〇〇病棟	一般	回復期	24	回復期リハビリテー ション病棟入院料3
転換前	5A病棟	一般	急性期	6	急性期一般 入院基本料1
転換後	5B病棟	一般	高度急性 期	6	脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

(*1:「一般」「療養」から選択)

(*2:「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」「非稼働」から選択)

(*3:「急性期一般入院料〇」「回復期リハビリテーション病棟入院料〇」等を記入)

<病院全体許可病床数(一般病床)>

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	合計
転換前	6	328	0	0	38	372
転換後	12	322	0	0	38	372

4 提供する医療の内容

【転換前】

2024年1月に実施した回復期機能(30床)から急性期機能へ転換後、急性期機能の充実化を図り、救急応需率が着実に向上している。また、2024年4月より、埼玉県急性期脳卒中ネットワークの基幹病院となり、脳卒中患者受入件数及び脳血管手術件数が前年度と比較し、8月時点でそれぞれ31件、10件増加している。

現在は、ICU、急性期一般病床で受入れを行っているが、患者の重症度により、受入れが困難な状況が発生している。

【転換後】

地域の中核病院として高度急性期機能を更に充実させ、より多くの重症患者受け入れに対応できるよう、急性期一般病床の一部を脳卒中ケアユニット(SCU)に転換し、県央地域における救急医療の充実に貢献する。

1) 救急応需件数

2023年度 4,077件 → 2024年度(4月～8月実績) 1,933件
 一カ月平均 340件 一カ月平均 387件(47件増)

2) 脳卒中患者受け入れ件数(4月～8月実績)

2023年度 132件 → 2024年度(4月～8月実績) 86件
 一カ月平均 11件 一カ月平均 17件(6件増)

5 医療従事者

職種	転換前の人員(人)			転換後の予定人員(人)		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	103	88	13.1	103	88	13.1
看護師	328	11	7.8	328	11	7.8
准看護師	1	1	0.7	1	1	0.7
看護補助者	25	30	19.1	25	30	19.1
理学療法士	21	0	0	21	0	0
作業療法士	6	0	0	6	0	0
言語聴覚士	4	0	0	4	0	0
放射線技師	22	0	0	22	0	0
臨床検査技師	18	3	1.7	18	3	1.7
薬剤師	27	5	3.9	27	5	3.9
事務	67	17	10.0	67	17	10.0
その他	48	10	7.0	48	10	7.0
計	667	159	58.7	667	159	58.7

<確保状況・確保策、確保スケジュール>

(※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。人員の変動がない場合、記入の必要はありません。)

今回の病床機能の転換による医療従事者の確保については、院内配置の見直し等により当該病棟に必要な医療従事者を確保する。

【医師】

【看護職】

【リハビリ職】

【その他】

6 主な病院内施設・設備

整備内容(*3)	整備不要
転換前	転換後
	現有機器により、転換後に必要となる器械・器具を当該病棟に設置する。 (救急蘇生装置、除細動器、心電計等)

(*3: 病床機能転換にあたり実施する施設整備内容を記載(「新築」「増改築」「内部改修」「設備整備」「整備不要」等))

(※増減が生じる施設・設備は、アンダーライン等でわかるよう記載してください。)